

## ②② (株)SmartHR SmartHR人事評価

---

企業名	株式会社SmartHR
機器・サービス名	人事評価システム
問合せ先	accessibility/atmark/smarthr.co.jp (注)スパムメール防止のため「@」を「/atmark/」と表記しています。
機器・サービスの概要	人事・労務業務を効率化しながら蓄まった人事データの一元管理が可能な人事評価システム
機器・サービスの特徴	<p><b>1. 機器・サービスの機能</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 部署・雇用形態ごとなどに、複数の評価テンプレートから評価シートを作成できます。</li> <li>● 評価シートでは、テキスト入力の外、選択入力や表組みなど多様な入力形式を指定することができます。</li> <li>● SmartHRに登録されている従業員へ作成した評価シートを送信できます。</li> <li>● 評価業務の進捗を一覧で確認し、管理することができます。</li> </ul> <p><b>2. 情報アクセシビリティの配慮内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● キーボード操作: キーボードのみで、すべての操作が可能です。</li> <li>● 音声読み上げ: 国内シェアの高い複数のスクリーンリーダーの読み上げに対応しています。</li> <li>● 色のカスタマイズ: OSのコントラストテーマや色反転モードに対応しているため、ユーザーが見やすいと感じる色の組み合わせでシステムを利用できます。</li> <li>● 表示する情報を限定するモードの提供: 表形式の情報を、一行ずつに限定して表示するモードを提供しています。これにより、手の不自由さや、限られた視野などのため、画面の横方向移動が難しいユーザーが、画面の横方向移動なしでの表の閲覧や入力を行うことができます。</li> </ul>

人事評価メニュー 評価シート 評価対象者



社員番号: 118

営業 花子さんの2022年上期

変更履歴 評価の流れ その他の情報

- 評価者の情報
- 評価対象者の情報

## 目標承認

目標設定 | 担当者 永 主真人

評価シート

最終更新日時: 2022/01/21 08:35 更新とは?

更新

業績評価 能力評価 総合評価

## 目標

今期の目標を入力してください

1行ずつ表示

売上目標 単位 (千円)	利益率目標 単位 (%)
<input type="text" value="1000"/>	<input type="text" value="40"/>

# (株)SmartHR SmartHR人事評価 (概要)

<p><b>当事者ニーズを踏まえた開発</b></p>	<p>SmartHRでは、障害当事者の複数社員による製品のアクセシビリティテストを実施しています。異なる障害を持つ社員が、それぞれの特性の観点からアクセシビリティ上の問題を指摘し、改善を進めています。</p> <p>また、完成版製品のテストだけではなく、製品の仕様策定や、完成前の製品レビューにも障害当事者の社員が関わっています。</p> <p>他にも、障害者支援の経験がある社員や、障害者や高齢者の在籍するユーザー企業にヒアリングを実施し、意見や要望を製品に反映しています。</p>
<p><b>企業としての取組</b></p>	<p>2022年にアクセシビリティを専門とする部署(アクセシビリティ本部)を設立。全盲の障害当事者を含むアクセシビリティの専門家と、アクセシビリティテストを実施する障害当事者が在籍しています。</p> <p>全社向けに、アクセシビリティ研修を定期実施しています。</p> <p>製品開発については、アクセシビリティ方針とアクセシビリティガイドラインを策定しています。また、ガイドラインに沿った開発を持続するため、専門家による開発者の育成を行っています。</p>

## 1. 当事者・開発者の視点でみたときに、アクセシビリティ配慮として評価できる点

### a. 製品が提供する価値

- 全盲や高齢者でも人事評価サイトが利用できるように機能実装している。
- 視覚障害者が人事評価を行うということを踏まえて開発や調査が行われ、アクセシビリティが設計されている。

### b. 機能面でのアクセシビリティ配慮

- アクセシビリティに配慮されたマニュアルの提供と、専用サポートが用意されている。
- スクリーンリーダーに対応したシステムとなっている。

## 2. 当事者にとって重要であるが、今後更なる配慮が期待される点(今後期待したい点)

### a. 製品が提供する価値

- —

### b. 機能面でのアクセシビリティ配慮

- 弱視(ロービジョン)に対する配慮として、読み上げ以外の点への対応が期待される。

## 3. 当事者ニーズを踏まえた開発について、優れている点

- 異なる障害を持つ社員が、それぞれの特性の観点からアクセシビリティ上の問題を指摘し、改善を進めており、製品の仕様策定や、完成前の製品レビューにも関わっている。
- 障害者や高齢者の在籍するユーザー企業にヒアリングを実施し、意見や要望を製品に反映している。

## 4. 企業としての取組について、優れている点

- 就労における人事部門が果たす役割は大きく、本分野にアクセシビリティが確保されることは、障害者雇用の促進や、世の中におけるアクセシビリティの理解度を高めるにあたって重要である。
- 障害当事者が在籍するアクセシビリティを専門とする部署(アクセシビリティ本部)を設立し、全社向けに、アクセシビリティ研修を定期実施している。
- 製品開発に関するアクセシビリティ方針、アクセシビリティガイドラインを策定するとともに、専門家による開発者の育成を行っている。